

2010年度

科目名	美術鑑賞法		
担当教員	江村 公		
配当	日文1	コード	54170
開期	前期	講時	金曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	「美術館に足を運んで作品を見る——現代アート入門」		
目的と概要	19世紀半ば以降現代まで、社会における芸術の位置がどのように変化してきたのかについて理解を深めることが、この授業の目的である。主に西洋美術の作品の紹介が中心となるが、日本における現代アートの状況についても考察する。また、近年のアート・フェスティバルに見られるような展示や観賞の形式の変化についても着目し、現代社会のなかでアートがどのように生かされているのか理解する。例年、課外授業で美術館見学もを行っているので、希望者は参加してもらいたい(昨年度は国立国際美術館を見学した)。		
成績評価法	平常点50%(毎回のコメント・シートを含む)、期末レポート50%		
テキスト	特になし		
参考書	授業中に指示する		
履修に当たっての注意・助言	授業ではさまざまな展覧会の情報を紹介するので、半期のあいだに最低一度は美術館に行って実際に作品を見てもらいたい。		
講義計画			
第1回はじめに——日本近代における美術館の成立と展示・鑑賞の変化 第2回歴史画とレアリズム 第3回印象派の絵画に見る当時の社会 第4回印象派における風景画 第5回キュビズムを中心に 第6回抽象絵画の誕生 第7回生活の中の芸術——写真やデザイン 第8回戦争と芸術 第9回戦後アメリカの芸術 第10回消費社会の芸術 第11回環境と芸術 第12回芸術家のアイデンティティをめぐって 第13回多文化主義 第14回美術館見学 第15回まとめ——現代アートをめぐる日本の現状			